決算認定にあたり出された意見

一般会計

【総務費】

①地域防犯事務事業
犯罪捜査や犯罪抑止を含めた地域防犯のため、防犯カメラの整備をさらに推進するとともに、被害の拡大が懸念される特殊詐欺への効果的な対策についても調査研究されたい。

②自治体DX推進事業
デジタル化の推進には人材の充実が不可欠であることから、全庁を挙げてデジタル人材の育成に取り組まれたい。

③財政健全化推進事業
明石市財政健全化推進計画終了後も引き続き財政健全化に資する取り組みを年次的に推進するため、今後の財政運営の方針を盛り込んだ新たな計画を策定されたい。

④犯罪被害者等支援事業
全ての市民が安心して暮らせるまちづくりのために、犯罪被害者のセーフティネットとして、より一層迅速かつ、きめ細やかな施策展開に努められたい。

⑤ふるさと納税促進事業
歳入確保の観点のみならず、さらなる地元企業との連携強化により、寄付者にとってより魅力のある明石産品が提供できるよう努められたい。

⑥契約事務事業
物価高騰など社会情勢の変化に応じた、実効性のある入札方法に変更されたい。

⑦広域行政事務事業
周辺自治体との情報交換・連携を図り、良好な関係の構築に努め、広域的な行政課題に対処されたい。

⑧都市開発一般事務事業
市内全域の均衡ある発展を実現するため、各地域における適切な予算措置を講じられたい。また、大久保北部エリアの市有地については、スマートインターチェンジの設置を含む利活用の可能性を調査し、設置に向けた予算確保に努められたい。

⑨JT跡地等活用事業
先導的官民連携支援事業による調査報告を生かしつつ、地域住民が望むまちづくりとなるよう合意形成を図りながら、JR大久保駅周辺市有地の利活用に取り組まれたい。

⑩男女共同参画推進事業
DV被害の未然防止の観点から、若年層へのジェンダー平等意識の啓発に一層取り組まれたい。

⑪市民会館運営事業
令和4年7月から閉鎖している、らぽすビル5階の市民ホールについては、漫然と維持管理費用が支払われている状況から、今後の利活用に向けて検討し、費用の圧縮に取り組まれたい。

⑫生涯学習センター運営事業
令和2年4月から閉鎖している、旧生涯学習センター分室については、漫然と維持管理費用が支払われている状況から、今後の利活用に向けて検討し、費用の圧縮に取り組まれたい。

⑬市民全員・事業者サポート事業
事業実績を踏まえ、同様の事業を実施する際には、利用券のデジタル化を検討するなど、経費削減に努められたい。

【民生費】

①要配慮者支援事業
災害時における要配慮者の円滑で迅速な避難が可能となるよう、地域の理解と協力を得ながら、個別避難計画の作成促進、避難行動要支援者名簿の提供拡大、福祉避難所の充実に向けて、引き続き取り組まれたい。

②福祉施設整備・人材育成事業
本人の状態に合った適切な専門人材および施設が不足していることから、住み慣れた地域で暮らせるよう、人材の確保・育成とともに施設整備に引き続き取り組まれたい。

③人権教育・啓発推進事業
拉致被害者の一刻も早い救出に向け、市民に対する意識啓発に一層取り組まれたい。

④高齢者福祉サービス推進（敬老優待乗車証）事業
たこバスの乗車料金は無料となっており、運行の有無による地域間の不公平さは残るため、時代や社会情勢の変化も踏まえて、公平性の確保の観点からも検討されたい。

⑤こども夢応援プロジェクト事業
保護者の経済状況に依拠せず、子どもが自らの意思で夢に向かえるよう、必要な支援に取り組まれたい。

⑥おむつ定期便事業
育児の不安や悩みを聴きながら見守りを行うという事業の理念に重点を置いて、取り組みの充実に努められたい。

⑦生活保護運営事業
保護費の紛失事案から年月が経過する中、収入未済額として計上されたままであり、今後の対応策を早急に示されたい。

【農林水産業費】

①農業一般振興事業
将来の農業の担い手になりうる子どもたちに向けたイベントの実施など、明石市農業の振興と発展のために積極的に取り組まれたい。

②豊かな海づくり事業
豊かな海を取り戻すための施肥等による漁場環境の改善に向けた事業を推進するため、十分な人員配置と予算確保に努められたい。

【土木費】

①安全・安心な海岸づくり事業
水上オートバイ対策用の二重ブイ設置期間の適正化など、コスト削減に向けた検討を進められたい。

②江井ヶ島松陰新田線道路事業
国道175号までのアクセス確保に向け、神戸市との緊密な連携により、具体的な協議を進められたい。

③水路維持管理事業
治水対策として、浸水危険箇所の早期改善を図るとともに、必要な人員配置と予算確保に努められたい。

④コミュニティ交通運行事業
交通不便地域を縮減するための路線の拡充や見直しなどを検討するとともに、明石市総合交通計画に掲げているキャッシュレス決済の導入を検討するなど、利用者のさらなる利便性向上に取り組まれたい。

⑤山手環状線街路事業
慢性的な渋滞の解消および市民生活の利便性や安全性の向上を図るため、計画どおり事業を完遂するよう取り組まれたい。

【消防費】

①消防車両整備事業
救急車両数の適正配備により、市民の救急要請に対応できる体制に努めるとともに、救急安心センター事業（#7119）の運用について、他都市との連携に努められたい。

②災害対策一般事務事業
南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えて、災害弱者をはじめ市民の安全安心のために、十分な備蓄物資の確保と備蓄倉庫の整備を図られたい。

【教育費】

①特別支援教育推進事業
個別の学び支援システムの不登校児童生徒への活用を検討されたい。

②不登校対策事業
小中学校の在籍者数に対する不登校の割合が依然として高いことから、未然防止および早期発見・早期対応など、新たな居場所づくりも視野に入れながら、さらなる充実に努められたい。

③小学校、中学校施設整備事業
学校施設については、学びの場であることに加えて、災害時の避難所としても利用することから、安全で安心な環境が提供できるよう、トイレの改修やエレベーターの設置など早期の整備に努められたい。

④図書館運営事業
蔵書の質に注力し、良い本に触れることを目的として人が集まる図書館を目指し、取り組みを進められたい。

⑤小学校等給食一般運営事業・中学校給食運営事業
食材高騰の影響がある中でも、給食における地産地消の推進は、月1回の兵庫県産食材の提供のみならず、食育の一環として、明石市独自で明石の食材を積極的に取り入れ、さらなる充実を図られたい。

特別会計

◎地方卸売市場事業特別会計

①明石市地方卸売市場事業特別会計
施設の老朽化が著しい卸売市場については、今後の在り方を含めた方向性を早急に決定されたい。また、水産物分場については、年間の使用日数が極めて少ないため、さらなる利活用に努められたい。

◎介護保険事業特別会計

①在宅ひとり暮らし高齢者等安否確認事業
高齢者が住み慣れた地域で安全に安心した生活を送ることができるよう、利用者の声を聞きながら、高齢者に寄り添った見守り、支援に取り組まれたい。

公営企業会計

◎水道事業会計

①管路更新と適正な人員配置
老朽管については、早期に更新を図るとともに、安全安心な水の供給に向けて人員体制の強化や技術職員の技術継承にも取り組まれたい。

◎下水道事業会計

①浸水対策
慢性化している地域について、市民の安全・安心な生活を守るための早期の管渠整備を図られたい。

市民の暮らしに密着した施策を

生活文化 常任委員長に聞く

【担当分野】
コミュニティや文化・スポーツ、環境、産業振興など、市民生活に身近な分野を審査します。

林　丸美（はやし　まろみ）

【議会歴】
在職2期。建設企業常任副委員長、総務常任委員などを歴任。47歳。

―重点的に取り組む事項

整備費が400億円を超える新ごみ処理施設、公設地方卸売市場や市民会館の老朽化など、私たちの生活の中でとても身近で重要な施設について検討課題があります。新ごみ処理施設は、整備費用を抑える必要がありますが、私たち市民一人一人も、ごみ分別の徹底や買い物の仕方など、ごみを減らす工夫も必要です。市民生活をはじめ農水産業、商工業、環境問題など市民の暮らしに密着したさまざまな課題をSDGsの考え方に基づき議論しています。

―委員長として一言

事業者の方、また、市民の皆さまの暮らしや活動に必要な拠点に関する課題も山積しています。コロナ禍から日常が戻りつつある中で、臨機応変に施策を推進できるよう取り組みます。

持続可能な都市基盤整備を

建設企業 常任委員長に聞く

【担当分野】
道路や河川、公園などの整備や都市計画、上下水道など、市民生活の基盤となる分野を審査します。

千住啓介（せんじゅう　けいすけ）

【議会歴】
在職5期。議長、副議長、監査委員、議会運営委員長などを歴任。47歳。

―重点的に取り組む事項

持続可能で安全・安心のやさしい都市空間づくりを進めるため、西明石町・和坂地区において浸水対策工事を実施するとともに、幹線道路においては、道路機能の向上を図るため、山手環状線大窪工区と江井ヶ島松陰新田線について令和8年度中の完成を目指して整備を進めてまいります。

また、安全・安心な水道水を市民の皆さまに届けるため、水道事業の健全経営に取り組んでまいります。下水道においては、市内の浄化センターなどの下水道施設の老朽化に伴う施設更新などについて議論してまいります。

―委員長として一言

市民の皆さまがいつまでも安心して暮らせるよう、都市基盤整備を進め、災害にも強い持続可能なまちを構築してまいります。